

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2019年11月1日）

■第1版 第1刷（2018年12月15日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第2章-1					
47	上から11行目	…によって胸骨の胸骨柄と関節する。	…によって胸骨の胸骨柄・ 第1肋軟骨 と関節する。		19/02/21
50	下から2行目	… 尺骨頭は橈骨の…	… 尺骨頭の 関節面(関節環状面) は橈骨の…		19/04/17
51	上から4行目	…ふくらんだ部分で、 上腕骨小頭と関節して 腕橈関節を形成する。	…ふくらんだ部分で、 その上面は関節窩とよばれる。関節窩は上腕骨小頭と関節し、 腕橈関節を形成する。	1つ目の「関節窩」は太字に。	19/04/17
54	上から5行目	第3中手骨の 底 : 母指内転筋横頭	第3中手骨: 母指内転筋横頭		19/07/05
第2章-3					
68	上から7行目	大・小菱形筋は 肩関節 の…	大・小菱形筋は 肩甲骨 の…		19/03/20
72	「臨床で重要！」の下から9行目ならびに16行目	肩甲下筋と小円筋	肩甲下筋 [*] と小円筋	「肩甲下筋」に [*] を付けます	19/07/05
72	「臨床で重要！」の最下部		※過去の国家試験では、肩甲下筋を外側・内側腋窩隙の構成に含めない出題例もある。	※の説明を加えます	19/07/05
79	下から12行目	母指の付け根のふくらんだ部分を形成する。	母指の付け根のふくらんだ部分(母指球)を形成する。		19/02/14
80	上から2行目	小指の付け根のふくらんだ部分を形成する。	小指の付け根のふくらんだ部分(小指球)を形成する。		19/02/14
81	表11「母指内転筋」の「起始」	横頭: 第3中手骨の 底 の前面	横頭: 第3中手骨の前面		19/07/05
82	上から2行目	母指球と小指球の間の領域にある筋で、…	母指球と小指球の間の領域(中手部)にある筋で、…		19/02/14
第2章-4					
83	下から2行目	…その 深層 の皮下組織を…	…その 浅層 を覆う皮下組織を…		19/02/14
第3章-1					
101	上から11行目	起始 大腿筋膜張筋、 腸骨筋 、広背筋	起始 大腿筋膜張筋、広背筋		19/07/05
104	下から2行目	1 大腿骨体(起始 中間広筋)	1 大腿骨体(起始 中間広筋、 膝関節筋)		19/04/17
105	上から2行目	1 内側唇(起始 内側広筋、 膝関節筋)	1 内側唇(起始 内側広筋、		19/04/17
111	下から13行目	2) 踵骨(図 9, 10. 起始 短趾伸筋, 短母趾伸筋、 足底方形筋)	2) 踵骨(図 9, 10. 起始 短趾伸筋, 短母趾伸筋)		19/04/17
111	下から6行目	3 踵骨隆起(停止…	3 踵骨隆起(起始 足底方形筋 、停止…		19/04/17
第3章-2					
120	下から3行目	O字状の形状をした 関節軟骨 で、…	O字状の形状をした 線維軟骨 で、…		19/02/14
121	上から2行目	O字状の形状をした 関節軟骨 で、…	O字状の形状をした 線維軟骨 で、…		19/02/14
121	上から17行目	終末強制回旋運動	終末強制回旋運動	太字に	19/02/14
123	上から4行目 中見出し	1) 距骨下関節	1) 距骨下関節(距踵関節)	目次の該当部分も修正してください	19/02/14
125	上から4行目	構成: 滑膜性関節で、…	構成: 滑膜性の 顆状 関節で、…		19/02/14
126	下から14行目	構成: 滑膜性の顆状関節で、中足骨の頭が…	構成: 滑膜性の顆状関節で 臨床上、MTP関節(metatarsophalangeal joint)とよばれる。 中足骨の頭が…		19/02/14

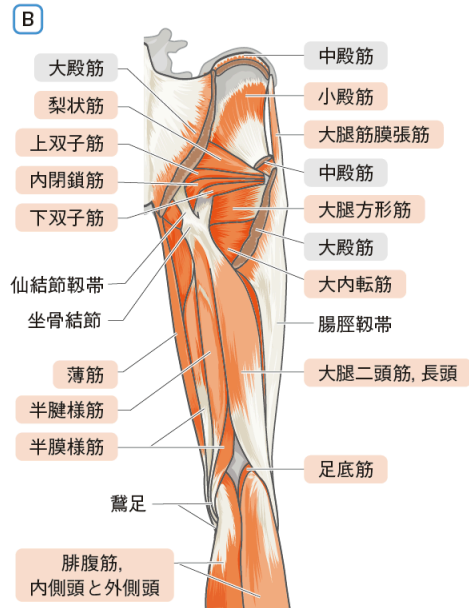
126	下から5行目	構成:滑膜性の蝶番関節で、趾骨の頭が遠位の趾骨の底と関節する。	構成:滑膜性の蝶番関節で <u>臨床</u> 上、 <u>IP関節(interphalangeal joint)</u> とよばれる。趾骨の頭が遠位の趾骨の底と関節を形成する。母趾は中節骨がないためIP関節は1つのみであるが、第2～5趾には <u>近位趾節間関節(PIP関節:proximal interphalangeal joint)</u> と <u>遠位趾節間関節(DIP関節:distal interphalangeal joint)</u> が存在する。		19/02/14
第3章-3					
129	表1「大腰筋」の「起始」	第12胸椎～第5腰椎の側面、…	第12胸椎～第5腰椎の <u>椎体</u> の側面、…		19/02/14
129	表1「小腰筋」の「起始」	第12胸椎・第1腰椎の側面、…	第12胸椎・第1腰椎の <u>椎体</u> の側面、…		19/02/14
129	表1「腸骨筋」の「起始」	<u>腸骨稜、腸骨窩、仙骨翼、前仙腸靭帯</u>	<u>腸骨窩</u>		19/07/05
129	表1「大腰筋」ならびに「小腰筋」の「神経支配」	腰神経叢の <u>前枝</u>	腰神経叢の <u>枝</u>		19/08/30
129	表2「膝関節筋」の「起始」	大腿骨の <u>内側唇</u> の下部	大腿骨 <u>体</u> の <u>前面</u> の下部		19/04/17
130	上から8行目	…大腿骨の <u>内側唇</u> 下部から…	…大腿骨 <u>体</u> の <u>前面</u> 下部から…		19/04/17
130	上から18行目	後区画(後部コンパートメント):主に膝関節の <u>伸筋</u> 群から…	後区画(後部コンパートメント):主に膝関節の <u>屈筋</u> 群から…		19/07/05
133	図4B		小殿筋の描き方を修正。	※1参照	19/11/01
136	表6「大腿二頭筋短頭」の「作用」	<u>股関節の伸展・外旋</u> 、膝関節の屈曲・外旋	膝関節の屈曲・外旋		19/07/05
143	表11「短母趾伸筋」の「作用」	第1趾(母趾)の中足趾節関節・ <u>近位趾節間関節の伸展</u>	第1趾(母趾)の中足趾節関節の <u>伸展</u>		19/07/05
145	表13「足底方形筋」の「起始」	踵骨の底面の内側縁・外側縁	踵骨 <u>隆起</u> の底面の内側縁・外側縁		19/02/14
146	上から3行目	外側楔状骨、立方骨から…	<u>内側・中間・外側</u> 楔状骨、立方骨から…		19/02/14
146	表14「短母趾屈筋」の「起始」	外側楔状骨、立方骨	<u>内側・中間・外側</u> 楔状骨、立方骨		19/02/14
146	図13		短母趾屈筋に「 <u>外側頭</u> 」「 <u>内側頭</u> 」の引き出し線を加える。	※2参照	19/02/14
第3章-5					
152	上から8行目	…皮枝を下腹部と殿部に与える。	…皮枝を下腹部と殿部の <u>皮膚</u> に与える。		19/05/22
152	上から10～11行目	…皮枝を男性では陰囊、女性では大陰唇に与える。	…皮枝を男性では陰囊の <u>皮膚</u> 、女性では <u>恥丘</u> と大陰唇の <u>皮膚</u> に与える。		19/05/22
152	上から15行目	②陰部枝:男性では陰囊、女性では大陰唇に分布する。	②陰部枝:男性では陰囊の <u>皮膚</u> 、女性では大陰唇の <u>皮膚</u> に分布する。		19/05/22
153	下から7行目	仙骨神経叢は、第1～ <u>3</u> 仙骨神経の…	仙骨神経叢は、第1～ <u>4</u> 仙骨神経の…		19/02/14
第3章-6					
158	上から10行目と11行目の間(「3 膝窩動脈」の前)		(以下の文章を挿入) ・浅腸骨回旋動脈:下腹部外側の皮膚に分布している。 ・浅腹壁動脈:下腹部内側の皮膚に分布している。 ・下行膝動脈: <u>内転筋管</u> (内側広筋・長内転筋・大内転筋などからなる通路)を通った後に起こる枝で、 <u>膝関節動脈網</u> に加わる。 ※ <u>ハンター管</u> ともよばれる。		19/05/22
第4章-2					
180	下から1行目	<u>尾骨</u> は胎生第4週…	<u>尾椎</u> は胎生第4週…		19/07/05

第4章-4					
196	図8A		「腸腰靱帯」の引き出し線を1本にし、「腰仙靱帯」を加える	※3参照	19/05/22
第4章-7					
215	表5「腸骨筋」の「起始」	腸骨稜, 腸骨窩, 仙骨翼, 前仙腸靱帯	腸骨窩		19/07/05
215	表5「大腰筋」の「起始」	第12胸椎～第5腰椎の側面, …	第12胸椎～第5腰椎の椎体の側面, …		19/07/05
215	表5「小腰筋」の「起始」	第12胸椎・第1腰椎の側面, …	第12胸椎・第1腰椎の椎体の側面, …		19/07/05
215	表5「小腰筋」の「停止」	恥骨筋線, 腸恥弓を経て腸恥隆起	寛骨の腸恥隆起		19/07/05
215	表5「腸骨筋」の「神経支配」	大腿神経(L2～4)	大腿神経(L2・3)		19/07/05
215	表5「腸骨筋」ならびに「大腰筋」の「作用」	股関節の屈曲・外旋	股関節の屈曲		19/07/05
215	表5「大腰筋」ならびに「小腰筋」の「神経支配」	腰神経叢の前枝	腰神経叢の枝		19/08/30
第5章					
240	上から9行目	…前大脳動脈と後大脳動脈に…	…前大脳動脈と中大脳動脈に…		19/02/21
241	下から3行目	…左右の後大脳動脈に分かれる.	…左右の後大脳動脈(大脳半球の下面と後頭葉に分布)に分かれる.		19/02/21
243	上から15～16行目	2 外腸骨動脈: 下肢に血液を送る動脈で, 兎径靱帯の血管裂孔を通過すると大腸動脈(→p.158)となる. 深腸骨回旋動脈・下腹壁動脈・外陰部動脈を分岐する.	2 外腸骨動脈: 外腸骨動脈の下端からは深腸骨回旋動脈と下腹壁動脈, 大腸動脈の起始部周辺からは浅・深外陰部動脈がそれぞれ分岐する. また, 外腸骨動脈は兎径靱帯の下の血管裂孔を通過した後に大腸動脈(→p.158)となる.		19/05/22
第6章					
261	肺気量分画の図		中央の赤線グラフを修正(最大吸気が最大呼気より先行).	※4参照	19/11/01
第7章					
271	上から4行目	…を横隔神経とともに…	…を迷走神経とともに…		19/02/14
272	上から7行目	角切痕: 胃体と幽門部の境にある鋭くへこんだ部分. …	角切痕: 小弯の鋭くへこんだ部分で, 胃体と幽門部の境にある. …		19/02/14
272	下から3行目	※筋層の順序は「タテ・ヨコ・ナナメ」と覚えるとよい.	※筋層の構造は表層から順に「タテ・ヨコ・ナナメ」と覚えるとよい.		19/02/14
274	図17	胆管	総胆管		19/02/14
276	下から5行目	…腸間膜が付着していないため可動性が大きい.	…腸間膜が付着していないため可動性が大きい. また, 盲腸と回腸の境には回盲弁(パウヒン弁)がある.	追記	19/02/14
第8章					
298	国試のPoint表「下垂体前葉」の「疾患名」	末端肥大症	骨端線閉鎖前: 巨人症, 骨端線閉鎖後: 末端肥大症		19/02/14
298	国試のPoint表「甲状腺」の「疾患名」	成人: 橋本病	成人: 橋本病, 粘液水腫		19/02/14
第10章					
318	上から10行目	上側頭回: 上側頭溝の上方の領域.	上側頭溝の上方の領域で, 優位半球(→p.320)の上側頭回には感覚性言語野(ウェルニッケ野)が存在する.	「感覚性言語野」「ウェルニッケ野」は太字.	19/08/30
318	上から14行目	横側頭回: 2～4個の回からなる領域. また優位半球(→p.320)の横側頭回には感覚性言語野(ウェルニッケ野)が存在する.	横側頭回: 2～4個の回からなる領域で, 一次聴覚野に相当する.		19/08/30
320	上から22行目	側頭葉の上側頭回に位置する.	側頭葉の横側頭回に位置する.		19/08/30

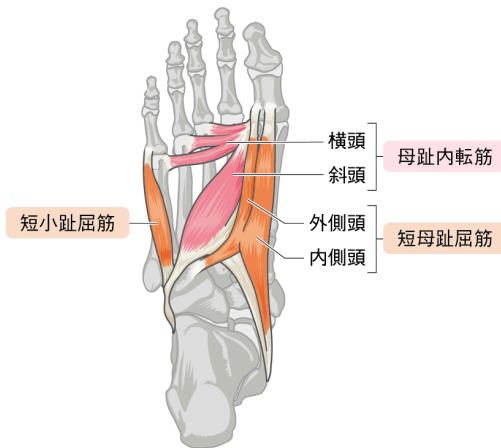
323	下から1行目	側脳室の前端を…	側脳室の前端を…	19/08/30
339	上から9行目	第2頸神経の後枝で、僧帽筋と頭半棘筋を貫いた後に後頭部から…	第2頸神経の後枝で、後頭下三角(⇒p.221)を通過した後に僧帽筋と頭半棘筋を貫く。後頭部から…	19/02/21

図表

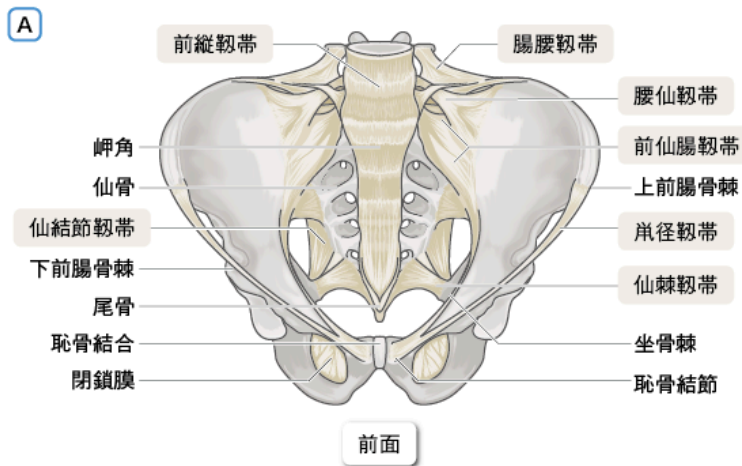
※1



※2



※3



※4

